

にこっと通信

nicotto tsu-sin!



2003.4.15

創刊号

発行／
ぐんまこどもの国児童会館



児童福祉週間企画

開催期間

4月26日(土)～
5月11日(日)

でかでか鯉と こいのモビールをつくろう!

児童福祉週間にともない、行っているイベントです。
ホールいっぱいにでき上っていく鯉を見ると、一人一人ではちいさな力でも、みんなでつくればこんなに大きいものができる、ということを実感できます。

プラネタリウム新番組

消えたカップ
アツシ君の事件簿

消えたカップ
～アツシ君の事件簿～

開催期間

6月1日(日)まで

平日 14:00～、15:20～

土日祝日 13:10～、15:50～

アツシ君のおじさんが経営するペンションで、きれいな星空をながめたその夜。おじさんの大切なカップがなくなるといふ事件が発生。犯人はいったい誰??

ぐんま母親クラブ フェスティバル

開催日

5月18日(日)

ぐんま地域活動連絡協議会等との共催で行います。
いろいろなイベントを用意して、今年もお父さん、お母さんががんばります。子どもも楽しいイベントですが、実は大人が一番楽しいのかも。



休館日

4月…7(月)・14(月)・21(月)・28(月)・30(水)

5月…6(火)・12(月)・19(月)・26(月)

6月…2(月)・9(月)・10(火)・11(水)・16(月)・23(月)・30(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL.0276(25)0055 FAX.0276(25)0059
<http://www.sunfield.ne.jp/~kodomo01/>

移動児童館

わくわく号



が行く!

「児童館」って知っていますか? 「児童館」とは、子どもに健全な「遊び」を提供して、その心身の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした施設です。地域の子供達は、誰でも自由に児童館に遊びに行くことができます。また、乳幼児と保護者のための活動や留守家庭の児童を対象とした放課後児童クラブの機能をもった児童館もあり、子ども達の健全育成に関する総合的な働きを担っています。



群馬県には、各市町村が設置している公立児童館、社会福祉法人などが設置している民間児童館、県が設置している「ぐんまこどもの国児童会館」をあわせると*68館の「児童館」があり、様々な活動を行っています。しかしながら、利用したことがないという方がいらっしゃいます。そこで当館では、児童館の活動をたくさんの方に知っていただくとともに、県内児童館や地域児童育成団体とネットワークを作り、児童館設置の促進や地域の子育て支援活動の活性化を図ることを目的に、県内各地域を巡回する「移動児童館」事業を行っています。



集団遊び

「移動児童館」事業も今年度で7年目を迎えますが、子ども達のキラキラと輝く笑顔はどこへ行っても同じです。ステキな笑顔を絶やさないよう、地域の方々と協力しながら「移動児童館」を実施していきたいと思っています。1つでも多くの児童館ができることを願って、今年度もわくわく号は県内各地域を走ります。

「移動児童館」事業も今年度で7年目を迎えますが、子ども達のキラキラと輝く笑顔はどこへ行っても同じです。ステキな笑顔を絶やさないよう、地域の方々と協力しながら「移動児童館」を実施していきたくと思っています。1つでも多くの児童館ができることを願って、今年度もわくわく号は県内各地域を走ります。

*群馬県児童館連絡協議会加入数(平成15年4月1日現在)

【利用案内】

- (1) 対象
①子供育成会 ②母親クラブ ③公民館 ④児童館等の児童健全育成を目的とした団体(学校、幼稚園、保育園は除く)
- (2) 利用期間
原則として4月1日から翌年3月31日まで(児童会館の休館日、特別事業期間中は除く)
- (3) 利用時間
午前10時30分から午後4時までの間の1~2時間程度
- (4) 実施プログラム

	内 容	プログラム例
集団遊び	親子遊びやリズム遊びの他、体を使った運動遊びや集団ゲーム等で遊びます。	・乳幼児と保護者向けの親子遊び ・小学生向けの、皿回しや集団ゲーム など
科学遊び	身近にある素材で簡単な実験をしながら、楽しい遊びを紹介しします	・シャボン玉遊び ・手作りスライム など
造形遊び	親子で作る簡単な工作から、ちょっと高度な造形まで、楽しく作ります	・手作りおもちゃ ・手作り楽器 など
鑑賞事業	映画や人形劇など上演します	・16ミリフィルム映画の上映 ・県内人形劇グループによる人形劇の上演

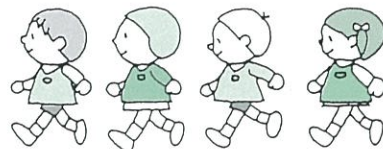
- (5) 申し込み方法
電話で日程の調整を行った後、申請書にて受け付けます
- (6) 利用料金
無料(ただし、プログラム内容により材料費をいただく場合があります)
- (7) 問い合わせ・申し込み先
ぐんまこどもの国児童会館・移動児童館係まで



科学遊び シャボン玉遊び



造形遊び ふうりん



がまんのできる子に!!

ーさせられる「がまん」から、する「がまん」へー

豊かさとし子化のなかで

「いまの子どもは、がまんが足りない」とよく言われます。子どもばかりでなく、大人にもその傾向は共通しています。戦中・戦後の絶対的な物不足の時代には、いやでもがまんさせられてきました。それは、けっして望ましい社会状況ではありません。しかし、その時代に生きた子どもたちは、大人になってもがまんが習慣化しています。

ところが、高度経済成長期を経て、一定の豊かさを達成すると、親心ながら、子どもの望むものは何でも叶えてやろうと、待つことなしに物を与えるようになりました。少子化が進むと、この傾向は一層強くなりました。その上、シャワーのように浴びせられる宣伝に欲望をかき立てられると、その誘惑に抗することは容易ではありません。また、親の仕事が家庭から分離し、ほとんどが消費家族化したことなども、子どもを「がまん」とは逆の方向へと進めることにつながりました。

その結果、「がまんしない・できない」というだけでなく、「がんばる」「やりぬく」「勤勉」などの力が次第に衰え、逆に、「あきっぽい」「集中できない」「キレやすい」など、根っここのところにつながり合った問題が発生し、すそ野を広げているように思われます。

一方、「がまんのしつけ」を考える場合、しつけの担い手としての養育構造も単純化して、家庭や学校に限られているのが現状です。かつては、地域の大人が養育の一端を担い、近所の子ども集団がガキ大将を中心に大きな影響力を与えてきました。家庭の中だけに限っても、祖父母・父母・兄弟姉妹と複雑な人間関係の中でがまんしたり、妥協したりしながら自分をコントロールしてきました。しかし、いまは父母と子ども一人か二人といった単純構造が多く、自己コントロールの必要な場面が生まれにくく、そうした経験の積み重ねができにくい状況です。だからと言って、この問題を放置することはできません。

がまんの目的と対象

辞書で調べると、「がまん」とは「耐え忍ぶこと。忍耐」とあります。そして「我慢強い」は「忍耐力がある。辛抱強い」と説明されています。そうすると、がまんのしつけとは、忍耐や辛抱を教えること、つまり自己制御・セルフコントロールの力を育てること、といっていよいでしょう。

ところで、「何をがまんするか」というと、指標は二つあります。ひとつは時間、もうひとつはがまんすべき内容の大きさです。どちらもストレスです。ですから、発達段階に応

じて、がまんする時間の長さや内容の大きさというストレスを適切に経験させる必要があります。そして、「がまん力（心の耐久性）」を良くするには、次の四点が大切です。

- ① 大きすぎるストレスを与えないこと
- ② 長時間がまんさせたままにしないこと
- ③ がまんは、いつか解放されるという見通しや約束があること
- ④ がまんは、できるだけ自力で解放できるようにすること

発達の流れに沿って

生まれながらにがまん強いという人はいません。がまんは生後の経験の積み重ねによって育つものです。がまんが育つためには、その基盤が必要です。その基盤とは、子どもが特定の誰か（多くは母親）との間に強い信頼関係を築くことです。これを「愛着」とも言います。愛着を形成するには、子どもの働きかけに対して親がすぐ反応することが大切です。乳児の場合、お腹が空いた・お尻が汚れた……と泣くことで働きかけます。親は、これに即応して保証付きの良い環境を整えてやることです。

生後二、三か月すると、子どもはもっと複雑な動きも行います。機嫌の良いときは、声を出したり、何かを指さしたりして表情の変化を示します。これに対して親は、返事をしながらあやしたり、一緒に指さした方向を見たりする応答を十分にすることが大切です。一見単純であたり前と思えることの中に、がまん力を育てる原点があるのです。これが後、欲求が満たされない状況に直面しても、自信を失うことなく立ち向かえる力となるのです。

こうした基盤の上に、三歳ごろから、お腹が空いたから、すぐに「ハイ、おやつ」ではなく、ある時刻まで待たせるとか、玩具を少し片付けてからなど、すぐに叶えていた要求を少しだけ間をおいて叶えるようにする工夫が大切です。このように、乳児期・幼児期・児童期……と、それぞれの発達課題の達成と合わせて「がまん力（自己コントロールの力）」を育てていくことが効果的です。

参考：渡辺秀樹「いま、がまんのしつけをどうするか」

林 多美「がまんの習慣をつけるには」

（『児童心理』2003年2月号所収ほか）

いきいき ボランティア (こども図書館) 屋岡 久美子さん

子どもたちに大人気の「人形劇であそぼう！」で活躍中の屋岡さん。自作の愛くるしい人形を一人で見事にあやつり、子どものみならず大人までも楽しませてくれます。腹話術の相棒“けんちゃん”との掛け合いもお見事です。そんな屋岡さんにおはなしを伺いました。

—こどもの国でボランティア活動をはじめて7年になりますが、はじめたきっかけは？

地元の児童館母親クラブの人形劇クラブで活動していた時に、児童会館で行った腹話術講習会を受け、腹話術の活動を継続してやりたいと思ったこと。

—続ける秘訣は？

“うまくやってやろう”と思わないこと。練習は大変だけれど、気負わないで楽しむことかな。趣味の一つとしてやっています。今は生活の一部にもなりつつある感じです。

—これからの抱負は？

作った人形をできるだけ大切に長く使いながら、もっと皆さんに楽しんでもらうこと。新作にも挑戦したいです。

「人形劇であそぼう！」の1週間前から発声練習を始めて本番に備えるそうです。仕事をもち、2児のお母さんとしても毎日忙しい屋岡さんですが、これからも大活躍してくれそうです。

「人形劇であそぼう！」は年に5回予定しています。5月にも実施しますので、ぜひお出掛けください。



公園レター

新緑の季節。子ども達もさらに元気に公園の芝生の上を飛び回っています。休日ともなるとにぎやかなこの公園には、色々な楽しみ方があります。

子ども達の大好きな噴水池から、かくれんぼの丘の向こう、それからふれあい工房のもっと奥まで遊歩道があります。ここは子ども達と一緒に自然を感じるにはもってこいの道で、常に新しい発見に満ちています。

ほかほかの、春の日差しのなかゆっくりと歩くのも良いでしょう。例えば池や小川には、色々な種類のオタマジャクシがいて、日を追う毎にカエルになっていく様子を見ることができます。こどもの国にはシュレーゲルアオガエルという、金色の目の鳴き声のすてきなカエルもいます。

池の上をすごいスピードで飛んでいくのはオニヤンマでしょうか。木々の間からは、春なのにセミの声がします……ハルゼミですね。小鳥の声も聞こえてきます。どんな鳥の声でしょうか。

野の花の名前を調べてみてもよいでしょう。よく道端でみられる、小さな青い花はオオイヌノフグリ。山のほうで見られるうす紫色のスミレはタチツボスミレです。

さて、自然というと、ちょっと後込みしてしまうという大人も多いのではないのでしょうか。そんなときは、ぐんまこどもの国自然ふれあいクラブがおすすめです。随時会員募集中。

自然とのつきあいは「気づき」から始まります。大人も子どもも一緒に「気づける」そんな楽しいクラブです。

お問い合わせ TEL.0276-22-1448 公園管理事務所

紹介します



佐波郡 境町児童センター



このコーナーは、県内の児童館を紹介します。
楽しい行事や特色ある遊具などをお話していきます。

〈住所〉〒370-0114 佐波郡境町大字新栄12-4
TEL.0270-70-6100 FAX.0270-70-6101
〈開館時間〉10:00~18:00、11/1~翌年1/31 10:00~17:00
〈休館日〉月曜日、祝日(5/5を除く)、年末年始

さて、にこっと通信第1回目の児童館は、佐波郡の境町児童センターです。この児童センターは、平成13年4月に境町に初めての児童館として開館しました。屋内には、遊戯室・図書室・集会室・工作室・ロフトがあり、屋外には、木を基調としたジャングルジムやブランコなどの遊具があり、いろいろな遊びができるようになっています。

中でも「クライミングウォール」は、大人気の遊具で子どもも大人も高さ3mの壁に悪戦苦闘しながら挑んでいるそうです。

他にも、畳が使われた安らぎの和の図書室、屋根裏部屋のような冒険心をくすぐるロフトなど魅力たっぷりです。

さて、続いては、どんな行事をおこなっているのか紹介します。地元老人クラブによる水鉄砲作りや子育てサークルによる料理教室、そして、ボランティアによるクライミングウォール講習会などの地域に密着した行事や七夕飾り、クリスマスツリー作りなど季節の行事をおこなっています。

最後に、平成15年4月に新しく開館する境町2番目の児童館、その名も「境町こども館・どんぐり」を紹介します。場所は、境町総合文化センターの南西で、元々あった「安らぎの館」を増改築したものです。隣接して大型遊具のあるふれあいパークがあり、屋内外で楽しく遊べる施設となります。

今回は、境町の2つの児童館を紹介しました。興味の沸いた方は、ぜひお出掛けください。これからも楽しい児童館を紹介しますので宜しくお付き合いください。



▲クライミングウォール

友の会だより

ぐんまこどもの国児童会館では、子どもたちの健やかな成長を願い、また、児童会館をより楽しく利用していただくため、「友の会」の会員を募集しています。様々な特典もありますので、どうぞご入会ください。

- 会員の期間 入会した日から、その年度の3月31日まで
- 年会費 家族単位で2,000円
- 特典 ①ぐんまこどもの国児童会館インフォメーション(児童会館の催し物など掲載)を毎月送付
②ぐんまこどもの国児童会館にこっと通信(これまでの児童会館ニュースが新しく生まれかわります)を年4回送付
③スペースシアター(プラネタリウム・全天周映画)の観覧無料(6回)
④こども観劇会など一部の行事についての優先予約
⑤新規入会時に記念バジブプレゼント

■入会方法 所定の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、ぐんまこどもの国児童会館に直接会費を添えてお申し込みください。また郵便局をご利用になれます。

お問い合わせ
ぐんまこどもの国児童会館友の会事務局(指導課)
TEL.0276-25-0055

編集後記

いよいよ創刊!! にこっと通信。よりよい紙面づくりをめざしスタッフ一同はりきっています。どうぞよろしく願いいたします。